

「水魚の交わり」ならぬ、「金魚？の交わり」

故事成語のひとつ「水魚の交わり」。魚は水があってこそ生きられる、ということより「欠くべからざる友の存在」を喩えている。水と魚のように切っても切れない親しい関係を離れることのできない親密な間柄や交際の喩えにも用いる。漢文で「水魚之交」とも記され、その起源には「如魚得水」がある。水を得た魚のように「自分に適した環境・境遇を得る」「気の合う友を得る」と言った意味で用いる。Mr' ブルーマウンテンこと青山先生は、私たちにとってまさしく「金魚之交」。これからも親密によりしくお願いいたします。

